



シリーズ

武雄の治水

vol.31

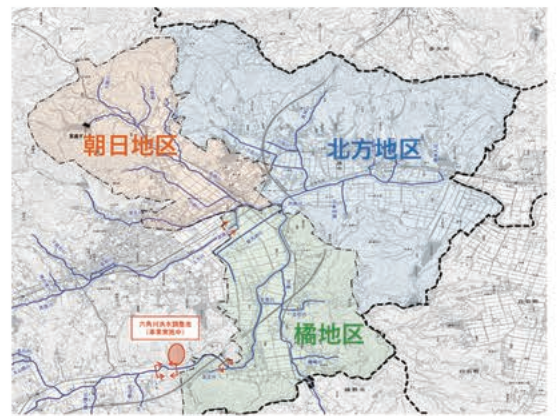
～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは 重点整備地区での住民意見交換会(治水とまちづくり)

六角川流域において浸水被害が特に多い橘町・朝日町・北方町は重点整備地区として位置づけられました。7月から9月にかけて、それぞれの地区で3回ずつ意見交換会を行いましたので、その様子をお伝えします。

治水対策とまちづくりの連携について

治水対策によって、地域の安全な暮らしを守ることは最優先課題です。そして、治水対策とまちづくりを連携して考えることで、より希望を持てる発展的な治水対策を進めたいと考えています。流域水害対策計画骨子(案)に定められた重点整備地区では、住民との意見交換会を各3回開催し、それぞれの目指すべきまちの将来像と治水対策との連携について国・県・市と意見交換を行いました。



▲重点整備地区位置図

住民意見交換会 実施団体…武雄市、武雄河川事務所、佐賀県
協力団体…佐賀大学、UR都市開発機構
参加者…各町のまちづくり推進会役員や農業・商工に従事する方々・スポーツ協会・育友会関係者など

橘町

六角川流域を中心として市内最大級の田園地帯が広がり、古墳や文化財が多く残る歴史的にも由緒ある自然豊かな地域です。

【主な意見交換内容】

- ・営農と治水がこれから先も共存していくために必要な対策
- ・避難ルートである国道498号と周辺のまちなみのありかた など



7月25日、9月5日、18日

朝日町

平地部では農地と商業地が共存しており、山間部では施設園芸への取り組みも盛んです。また新たな居住区域として子育て世代が多い地域です。

【主な意見交換内容】

- ・排水ポンプのみに頼らない河川対策のありかた
- ・治水対策事業と子育て環境の充実 など



7月3日、31日、9月11日

北方町

山間部と六角川にはさまれた平地部に主要道路や鉄道がはしり、交通網を中心として商業地や居住地が発展しています。また水稲作も盛んで、山間部には農業用ため池が多く存在しています。

【主な意見交換内容】

- ・国道34号バイパス事業の進捗に併せた治水対策の進め方
- ・既存の排水機場の運転方法を工夫した排水対策 など



7月26日、8月7日、9月10日



今回の意見交換会で頂いた多くの意見は、学識者や各種関係者とともに検討する治水対策と連携したまちづくりの参考といたします。また、本年度末の策定を目指す六角川流域水害対策計画にも反映させていただきます。

詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

